令和2年度

市政運営の基本方針

令和2年2月20日

摂津市長 森山一正

本日、ここに令和 2 年度の一般会計予算をはじめとする諸議案のご審議をお願いするにあたりまして、市政運営に関する私の所信と、施策の大要を申し上げます。

私が 4 期目の市長の重責を担わせていただき、3 年と 4 か月が過ぎようとしております。

この間、私は、市民目線で、「安全・安心」「健康」そして「子ども」を重点テーマに据え、市政運営に邁進してまいりました。振り返りますと、難しい課題もございましたが、力強く、時には柔軟に、木が年輪を刻むが如く、一つひとつの取り組みを積み重ねてまいりました。阪急京都線連続立体交差事業をはじめ、千里丘駅西地区の再開発、ごみ処理の広域化など、将来への道筋をつけることができました。数多の課題を乗り越え、今日まで推し進めてこられたのは、ひとえに、市民の皆様、市議会議員の皆様のご理解とご協力、並びに職員の尽力のおかげであります。

本年度は、これまでの取り組みに更なる磨きをかけ、新たなる道のりを切り開くべく、たゆまぬ努力、柔軟な発想、そして揺るがぬ信念をもって、本市のまちづくりに取り組んでまいる所存であります。

さて、我が国を取り巻く社会情勢についてであります。

昨年以降、中国で発生した新型コロナウイルス感染症は、世界各国へと広がり、今後の世界経済や金融資本市場への影響も懸念されております。また、中東地域における情勢不安や、英国の EU 離脱等の動向につきましても注視する必要があります。

本市の財政状況をみますと、平成 30 年度決算における経常収支比率は、100.7%と対前年度比 0.3 ポイントの悪化となり、平成 29 年度に続き 2 年連続で 100%を超える大変厳しい状況が続いております。今後の見通しにつきましては、歳入では、税制改正に伴う法人市民税や、生産年齢人口の減少による個人市民税等の減収が見込まれております。また、歳出では、公共施設等の更新問題や扶助費の増加などが控えております。

留意すべき事項は多々ございますが、それ故に、既存の事業や仕組みに捉われることなく、見直すべきものは見直し、勇気を持って決断する、進取果敢の精神で不断の改革に取り組んでまいります。

次に、本市の人口に目を向けますと、千里丘新町における開発等の影響により、総人口は増加しております。しかしながら、全国的な傾向と同じく、近い将来、人口縮減期に入ることが見込まれております。そのような中、鳥飼地域におきましては、既に人口減少や

少子高齢化の進展が顕著であり、課題も顕在化しております。この状況を打開していくためには、各分野での「点」の対策ではなく、複数の分野が連携して取り組む「線」の対策が必要となります。

そこで、本年度から、専任体制となるプロジェクトチームを立ち上げ、ハード・ソフトの視点から、これからの鳥飼地域のまちづくりのビジョンを示す、ランドデザインを描いてまいります。

それでは、令和 2 年度の具体的な施策について、ご説明申し上げます。本年度に実施いたします新規事業を含む主な施策につきまして、「第 4 次摂津市総合計画」に示しております「7 つのまちづくりの目標」に沿って、ご説明申し上げます。

第 1 に「市民が元気に活動するまちづくり」についてであります。

市内では、子育てや美化活動、健康づくりなど、同じ目的を持った仲間同士や地域のつながりによる、主体的な活動が根付いてきております。これからの地域課題や社会問題の解決のカギとなりますのは、市民、事業者、NPO をはじめとする各種団体の活動・取り組みであります。この協働の芽を育てる場とすべく、正雀市民ルームを改修し、市民の皆様が気軽に集い、交流を深めていく場を創出してまいります。

また、地域における多様な活動の促進に向け、ニーズ調査等を行い、今後のコミュニティ施設のあり方について検討してまいります。

次に、情報発信及び広聴の取り組みについてであります。

シティプロモーションの展開につきましては、大型のデザイン QR コードを庁舎壁面に設置し、本市への興味・関心を高め、「協働人口」の創出につなげてまいります。また、鳥飼の地域資源を活用した PR イベント等を通じ、市内外へ魅力を発信してまいります。

広聴の取り組みにつきましては、市政モニター制度を引き続き実施し、市民の皆様のお声を市政運営に活用してまいります。

第 2 に「みんなが安全で快適に暮らせるまちづくり」についてであります。

昨年、日本列島を縦断した台風 19 号による記録的な豪雨は、冠水や河川の氾濫を発生させるなど、東日本の広い範囲で甚大な被害をもたらしました。淀川や安威川流域に位置する本市は、いつ同じような災害が起こってもおかしくない状況にあり、備えを怠らないようにしなければなりません。

水害対策につきましては、排水路ポンプ場等の浸水防除施設に水位計及び定点カメラを設置し、リアルタイムで把握できる体制を構

築するとともに、市内の水路台帳及び水路網図を整備してまいります。また、雨水排水機能の強化に向け、東別府雨水幹線工事を着実に進めてまいります。

水道施設につきましては、中央送水所 1 号配水池の建替え工事に着手し、安全な水の安定供給に努めてまいります。また、鳥飼送水所の送水管を 2 系統化するなど、災害に強い施設整備を計画的に実施してまいります。

下水道施設につきましては、施設の長寿命化や適正な維持管理を行うため、「下水道ストックマネジメント計画」を策定してまいります。

近年多発する自然災害を踏まえ、防災対策を再点検し、本市が掲げる「まちごと・丸ごと防災」の更なる推進が重要となってまいります。そこで、本年度から防災・危機管理の専門部署を設置し、「摂津市地域防災計画」に基づき、自助・共助・公助の防災対策を推進してまいります。

自助・共助の支援につきましては、浸水被害を疑似体験できる AR 機器を導入し、防災訓練等を通じ、危機意識の醸成を図ってまいります。また、自主防災組織による地域版防災マップの作成を支援してまいります。さらに、法定基準を満たさないブロック塀等の撤去に対する補助を引き続き実施するとともに、木造住宅の耐震診断に

対する補助額を引き上げてまいります。

避難所につきましては、小中学校に鍵ボックスを設置し、迅速な開設につなげるとともに、長期的な避難生活を見据え、計画的な環境整備等について検討してまいります。また、避難場所に設置するマンホール用トイレ及びテントを追加配備してまいります。

消防・救急救助施策につきましては、消防ポンプ自動車及び救命ボートを更新してまいります。また、第二分団屯所の建設工事を実施するとともに、消防団員の保安帽を更新してまいります。

次に、都市基盤整備についてであります。

千里丘駅西地区の再開発につきましては、事業協力者を決定し、事業計画書を策定してまいります。また、阪急京都線連続立体交差事業につきましては、建物等調査及び不動産鑑定を行い、用地取得を順次進めてまいります。

良好な住環境づくりにつきましては、特定空家等の解体費補助制度を創設し、所有者による空家の適正管理や利活用等を促進してまいります。また、市内狭隘道路の現況調査を行い、住宅の開発等を促す仕組みを検討してまいります。

公共交通の安全対策につきましては、大阪モノレール南摂津駅の可動式ホーム柵設置に対する補助を実施してまいります。

次に、安全で快適な道路交通環境についてであります。

阪急正雀駅前の道路及び千里丘三島線の歩道の整備につきましては、建物調査等を行い、用地取得を順次進めてまいります。また、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、40 橋の法定点検、3 橋の修繕工事を実施してまいります。

昨年 5 月、滋賀県大津市において、歩道を散歩していた園児を巻き込む、たいへん痛ましい交通事故が発生いたしました。このような事故が起らないよう、園児等が日常的に通行する危険箇所、路側帯の設置・拡幅等を実施するとともに、市内幼稚園・保育所等において交通安全講習を実施してまいります。

自転車活用の推進につきましては、環境負荷の低減や健康増進等につなげる一方で、交通事故対策が不可欠であります。安全な通行空間の確保に向け、「摂津市自転車通行空間整備計画」に基づき、車道上に自転車通行レーンを順次整備してまいります。

高齢者の運転免許証自主返納の促進につきましては、引き取り手がない放置自転車を返納者に提供する、全国初となる「人生 100 年ドライブ」に取り組んでまいります。

第 3 に「みどりうるおう環境を大切にすまちづくり」について
であります。

昨年 9 月、地球温暖化防止に向けた具体的な計画・行動を促すため、国連気候行動サミットが開催されました。私たちは、直面している環境問題から目をそらさず、持続可能な循環型社会に向け、行動を起こしていかなければなりません。本年度は、「摂津市地球温暖化防止地域計画」及び「摂津市一般廃棄物処理基本計画」を改訂し、温室効果ガスの抑制等につなげる具体的な取り組みを検討してまいります。

次に、ごみ処理の広域連携についてであります。

昨年 12 月、茨木市とごみ処理に係る連携協約を締結することができました。令和 5 年度の広域処理開始に向け、茨木市と更なる連携のもと、着実に取り組みを進めてまいります。本年度は、本市リサイクルプラザから広域処理施設に通じる橋りょう及び専用道路の実施設計に取り組んでまいります。

緑化の推進につきましては、誕生記念植樹祭や花いっぱい活動等を通じ、自然と触れ合う空間を創出してまいります。

第 4 に「暮らしにやさしく笑顔があふれるまちづくり」について
であります。

年明けに起こりました中東地域における緊迫した状況は、世界中に、
戦争が起こるのではないか、という恐怖と不安をもたらしました。私
たちの今ある平和は、悲しい歴史の礎の上であり、だからこそ、私た
ちには再び戦争を起こさない、そして起こさせないよう警鐘を鳴らし
続ける責務があります。7月・8月の平和月間では、市内小中学校や
企業等で平和黙祷を行うなど、皆様と心をつなげ、平和への祈りを
本市から発信してまいります。また、平和首長会議など様々な機会を
捉え、戦争の悲惨さや平和の尊さについて訴えてまいります。

人権施策につきましては、差別や虐待のない社会に向け、摂津市
人権協会と連携し、啓発活動に取り組んでまいります。

男女共同参画につきましては、「第 4 期摂津市男女共同参画推進計
画」の策定に向け、市民意識調査を行い、多様化する現代社会の実
情に合った取り組みを検討してまいります。また、大阪人間科学大
学と連携し、学生が企画するデート DV 出前授業を市内の中学校及
び高校で実施してまいります。

次に、福祉施策についてであります。

核家族化の進展、女性のキャリアデザインや男性の育児参加など、

子育て世代を取り巻く環境は、一昔前と比べ大きく変化しております。このような変化に対応し、多くの方に「子育てするなら摂津市」と思っただけけるよう、保健・福祉・教育の各分野が融合した「子育て世代包括支援センター」を設置し、それぞれの段階に応じた切れ目のない支援を展開してまいります。

母子保健につきましては、産後うつ等の早期把握・支援に向け、医療機関でのショートステイ・デイケアサービス、産後 2 週間及び 1 か月の産婦検診を実施してまいります。

子育て支援につきましては、新たな地域子育て支援拠点の事業運営を支援し、子育て世代が気軽に集うことができる場を創出してまいります。また、学童保育の預かり時間を拡充し、午後 7 時までの延長保育を実施してまいります。さらに、携帯型翻訳機を導入し、様々な言語に対応できる、子育て支援の環境を整備してまいります。

待機児童対策につきましては、保育定員の拡大に向け、摂津市保育連盟と連携し、施設整備等を行う法人を支援してまいります。せつつ幼稚園につきましては、保育需要の増大や施設運営の効率化等を踏まえ、民営による認定こども園に向け、事業者の選定を実施してまいります。

続いて、高齢者施策につきましては、介護予防等のニーズ調査結

果を踏まえ、「第 8 期せつつ高齢者かがやきプラン」を策定してまいります。また、特別養護老人ホームでの入浴機会を拡充し、高齢者同士の交流を促進することで、認知症・介護予防につなげてまいります。さらに、高齢者が社会とのつながりを育み、生きがいを持って暮らすことができるよう、「摂津市健康・生きがい就労トライアル」を創設してまいります。

障害福祉施策につきましては、「第 4 次摂津市障害者施策に関する長期行動計画」の前期中間見直しを実施するとともに、「第 6 期摂津市障害福祉計画」及び「第 2 期摂津市障害児福祉計画」を策定してまいります。また、障害者支援施設での自立した日常生活を支援するため、移動支援を拡充してまいります。

次に、健康施策についてであります。

健都では、昨年 7 月に国立循環器病研究センターが開設し、国立健康・栄養研究所の移転が前進するなど、健康医療のまちが本格稼働してまいります。本年度は、吹田市とともに、市民や企業、大学等、多様な関係者が集まり、継続的にまちを発展させていく仕組みづくりに着手してまいります。また、心筋梗塞の予防啓発 STOP MI に続き、脳卒中の予防啓発活動を国立循環器病研究センターと協働で、進めてまいります。

市民の健康づくりにつきましては、まちごとフィットネス！ウォーキングコースで、楽しく健康づくりに参加できるよう、ノルディックウォーキング等のイベントを実施してまいります。

感染症対策につきましては、本年 10 月から、ロタウイルスワクチンの定期接種を実施してまいります。

国民健康保険につきましては、持続可能な制度を構築していく必要があります。伸び続ける医療費の抑制に向け、本年度から 40 歳以上の被保険者を対象にした人間ドック受診費用の助成額を引き上げ、疾病の早期発見・重症化予防につなげてまいります。また、保険料につきましては、大阪府市町村標準保険料率をもとに、国民健康保険財政調整基金を活用しながら、改定いたします。

第 5 に「誰もが学び、成長できるまちづくり」についてであります。

人生 100 年時代と言われる今日、地域に暮らす人々相互の「つながり・絆づくり」を促進させる生涯学習の重要性はますます大きくなっております。生涯学習活動の活性化に向け、市民が活躍できる機会等について検討を進めるとともに、地域活動の拠点強化に向け、これまでのバリアフリー化の検討を踏まえながら、公民館の機能や役割を発展させてまいります。

安威川公民館につきましては、外壁や空調等のリニューアル工事を実施してまいります。

次に「生きる力」を育む学校教育についてであります。

学力向上の取り組みにつきましては、学習習慣の更なる定着に向け、「せっつ SUNSUN 塾」の受講者を中学校 2・3 年生までに拡充し、受講科目に国語を追加してまいります。また、ICT 教育の推進に向け、小中学校の校内 LAN 環境を整備してまいります。

問題行動等への取り組みにつきましては、スクールロイヤーを配置し、法的側面から学校でのいじめ事案等の予防及び早期解決に取り組んでまいります。また、不登校の児童生徒等に、医療機関や介護施設で導入されているセラピードックによる支援を実施してまいります。

特別支援教育につきましては、児童生徒が気持ちを落ち着かせて過ごせるカームダウンスペースを小中学校に設置するとともに、補聴援助システムを導入し、聴覚障害のある児童生徒の学習環境を充実させてまいります。また、入学児童生徒の保護者等に向けたリーフレットを作成し、障害への理解促進を図ってまいります。

教員の働き方改革につきましては、全小中学校にスクールサポーターを配置し、教員の事務負担を軽減することで、より子どもたちと向き合う機会を増やしてまいります。

中学校給食につきましては、喫食率向上に向け、PR を実施するとともに、中長期的な学校給食のあり方について研究してまいります。

教育環境の改善につきましては、味舌・千里丘・摂津小学校及び第二・第三中学校において、トイレの全面改修を実施してまいります。また、味生小学校及び第二・第三中学校の照明灯を LED 灯に切り替えるため、実施設計を進めてまいります。千里丘小学校につきましては、建物等の基礎調査を行い、児童数の増加を見据えた適切な校舎の整備について検討してまいります。

さて、いよいよ本年 7 月には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。この機運を捉え、世界で活躍されてきたアスリートたちによるスポーツ教室「集まれ未来のメダリスト～摂津市体感プロジェクト 2020～」を開催し、子どもたちに夢や目標を持つこと、そして努力することの大切さを伝えてまいります。

スポーツ環境の充実につきましては、リニューアルした青少年運動広場の供用を本年 4 月から開始するとともに、味生体育館のエレベーターや空調設備等を改修してまいります。また、令和 4 年の竣工に向け、味舌地域における体育館の建設工事に着手してまいります。

第 6 に「活力ある産業のまちづくり」についてであります。

本市は、製造業や卸・小売業、サービス業など 4,000 を超える多様な事業所が集積し、北摂地域で唯一、昼間人口が夜間人口を上回る産業のまちであります。一方、近年の消費者における購買手法の多角化、労働人口の減少など、産業を取り巻く環境は大きく変化しております。第 2 期産業振興アクションプランを着実に推進し、本市の強みをさらに伸ばし、弱みを新たな強みとすべく、事業を展開してまいります。

中小企業の育成につきましては、市内企業の製造商品を紹介する機会を創出し、企業間連携や販路開拓等を支援してまいります。

商業の活性化につきましては、商工会と連携し、「セッピィスクラッチカード」を発行するとともに、SNS 等を通じ、参加店舗を PR してまいります。

創業支援につきましては、市内の空き店舗に入居する創業者に対し、家賃補助や経営コンサルタントによる支援を行い、市内での創業及び定着の促進を図ってまいります。

健都イノベーションパークへの企業誘致につきましては、引き続き関係機関と連携を図り、健都のコンセプトに合致した企業の誘致活動を実施してまいります。

第7に「計画を実現する行政経営」についてであります。

これまでにない人口減少・超高齢化の進展は、生産年齢人口の減少による税の減収や働き手の不足、福祉ニーズの多様化や空家の増加など、様々な分野に影響が波及いたします。迫りくる難題に対し、従来の延長線上に立った手法だけで乗り切ることは困難であり、将来を見据えた計画行政の展開が必要となります。本年度は、「第4次摂津市総合計画」と「摂津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体化し、そして各分野計画との関係性を明確化した「摂津市行政経営戦略」を策定してまいります。また、各分野計画の進捗管理の強化を図り、ビルド&スクラップのもと、新たな行政サービスの展開につなげてまいります。

人事施策につきましては、JR大阪駅や阪急大阪梅田駅等の駅構内のデジタルサイネージに採用広告を掲出し、優秀な人材の確保に努めてまいります。また、「摂津市人材育成実施計画」を改訂し、高度・多様化する職務を的確に遂行する人材を育成してまいります。

ICTの推進につきましては、「摂津市地域情報化計画」を改訂するとともに、処理時間の短縮や人為的ミスの抑制に向け、定例業務等にRPAを導入してまいります。

ファシリティマネジメントの推進につきましては、個別施設計画

を包含した「摂津市公共施設等総合管理計画」を改訂してまいります。鳥飼保育所及びとりかい幼稚園の園舎等につきましては、認定こども園化に伴う施設の建替えや多機能化を見据え、今後の施設のあり方について調査・検討してまいります。せつつメモリアルホール南側の平面駐車場につきましては、利用者の利便性向上に向け、アスファルト舗装工事を実施してまいります。

結びになりますが、一言申し上げたいと思います。

様々な技術革新が進み、無駄が省かれ、私たちは便利さを享受できるようになりました。一方で、多くの情報が飛び交う現代社会では、人々は、多忙で、時間に追われているように思います。このような時代だからこそ、少し立ち止まり、自身とその周りとの関係について、そして暮らしを営む地域について、見つめ直していく必要があるのではないのでしょうか。

ご近所同士での助け合いや、何気ない会話などの積み重ねは、人と人とを結び付ける大切なつながりを醸成します。このような「つながり・絆づくり」は、一人ひとりにとって、大きな意義を有するのは然ることながら、これを紡ぎ合わせることで「地域づくり」となり、ひいては地域に対する愛着や誇りを育むこととなります。

そして何より、これらの根底にありますのが、それぞれが持つ心の在り様にほかなりません。

人間基礎教育にある「思いやり」「奉仕」「感謝」「あいさつ」「節約・環境」の心は、まさしく心の在り様を説いた、本市のまちづくりそのものであります。この5つの心づくりを磨き上げていくことが、本市の将来に向けた確かな一歩につながると、私は確信いたしております。

いついかなる時も初心を忘れず、一つひとつに真心を込め、本年度も、「つながりのまち摂津」の実現に向け、力の限り邁進してまいります。

以上、市政運営にあたっての基本的な考え方、並びに本議会にご提案いたしております施策の大要につきまして、ご説明申し上げます。

本年度を摂津の将来を見据えた、新たな始まりの1ページとすべく、職員一同、「やる気」「元気」「本気」そして「勇気」をもって、鋭意取り組みを進めてまいります。

皆様には、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の市政運営方針といたします。